

自社の監督者(リーダー)に、外の空気を吸わせて“刺激”を与えてみませんか！！

6月スタート

一般社団法人群馬県経営者協会 教育委員会

# 第44期 フォアマン研修会

「フォアマン」とは「監督者」を意味します。

第一線の監督者(リーダー)は、仕事の面でも、また人間関係の面でも、職場の要・キーパーソンです。その働きぶりが、企業の成果・業績に大きく影響することは言うまでもありません。一方で、新しく監督者(リーダー)という立場になった人をはじめとして、監督者(リーダー)の役割に疑問や不安を感じつつ日々を過ごしている人もいます。

監督者(リーダー)のための研修として当協会が開発した「フォアマン研修会」は、回を重ねること今年で44期目を迎えます。以下に、その特長的な内容をご紹介します。

## ■ 長期にわたる動機づけ

「研修に参加させたが、全然変化がない。いったい何をやってきたのだろうか……」という嘆きを耳にすることがあります。特にマインド研修はスキル研修と異なり、即効性のあるものではありませんから、“研修参加”＝“目にみえる変化”とはいかないのが当然かもしれません。逆に言うと、それなりのショックや刺激を受けない限り、たった1度の研修参加により人間性がすっかり変わるということも考えにくいことです。その点、このフォアマン研修会は、約6か月間・全10会合にわたるロングランですので、参加者は長期的に刺激を受け続けることとなります。この「長期的」ということが、態度形成・意識改革に必要な要因となります。

## ■ 「他流試合」「異業種交流」「人脈形成」の場

長期間にわたって同じ職場・同じメンバーで仕事をしていると、どうしても“井の中の蛙”になり、視野が狭くなってしまいます。この研修に参加し、グループ討議などで他の企業の監督者(リーダー)と接することにより、自分自身や自分の職場の在り方について考える“ヒント”や“気づき”を得られますし、業種の異なる企業の監督者との意見交換を通じて、異なる考え方・言葉を知ることによって、視野が広がるきっかけにつながります。また、他の企業の監督者との人脈形成にもつながりますし、グループ討議を経験することによって、討議の進行や発表のスキルも向上します。

## ■ 講師は地元企業から

フォアマン研修会では講師のことをコーディネーターと呼んでいます。そして各会合のコーディネーターは、それぞれが地元の有力企業(様々な業種)で人事・教育関係に携わっている方々です。地元の企業で育ち、人事・教育問題等に対応し、苦勞されている方々による研修は、プロの研修講師にはない味わいと共感があります。

## ■ グループ討議がメイン、体験は歩行ラリーで

フォアマン研修会は一方向的な講義形式ではなく、グループ討議がメインです。また、第7会合の「歩行ラリー研修」では、体験学習を取り入れています。ラリーの実体験を通じて、情報共有やチームワークの重要性等を肌で感じ、体得していただきます。普段は運動とは縁遠い人、いささか斜に構えている人も、この「歩行ラリー研修」には夢中になり、熱心に取り組むから不思議なものです。

## ■ グループ課題を職場で実践

グループごとに設定した課題を、参加者が各自の職場で実践し、毎会合終了後にその進捗状況等について討議をします。第2会合で施策を策定し、以降PDC Aを回して行くというものです。最終第10会合では、半年間の課題実行の成果を、全員の前で発表し、研修を締めくくります。

## ■ TWI 修了済みが前提

監督者訓練のひとつである「TWI」(TWI-4 J 10時間訓練講習会)が修了済みであることが、フォアマン研修参加の前提となります(なお、TWIを修了していない参加者のために、別途特別講習会を開催しますので、未修了の方でもご参加いただけます)。

## ■ 伝統ある研修

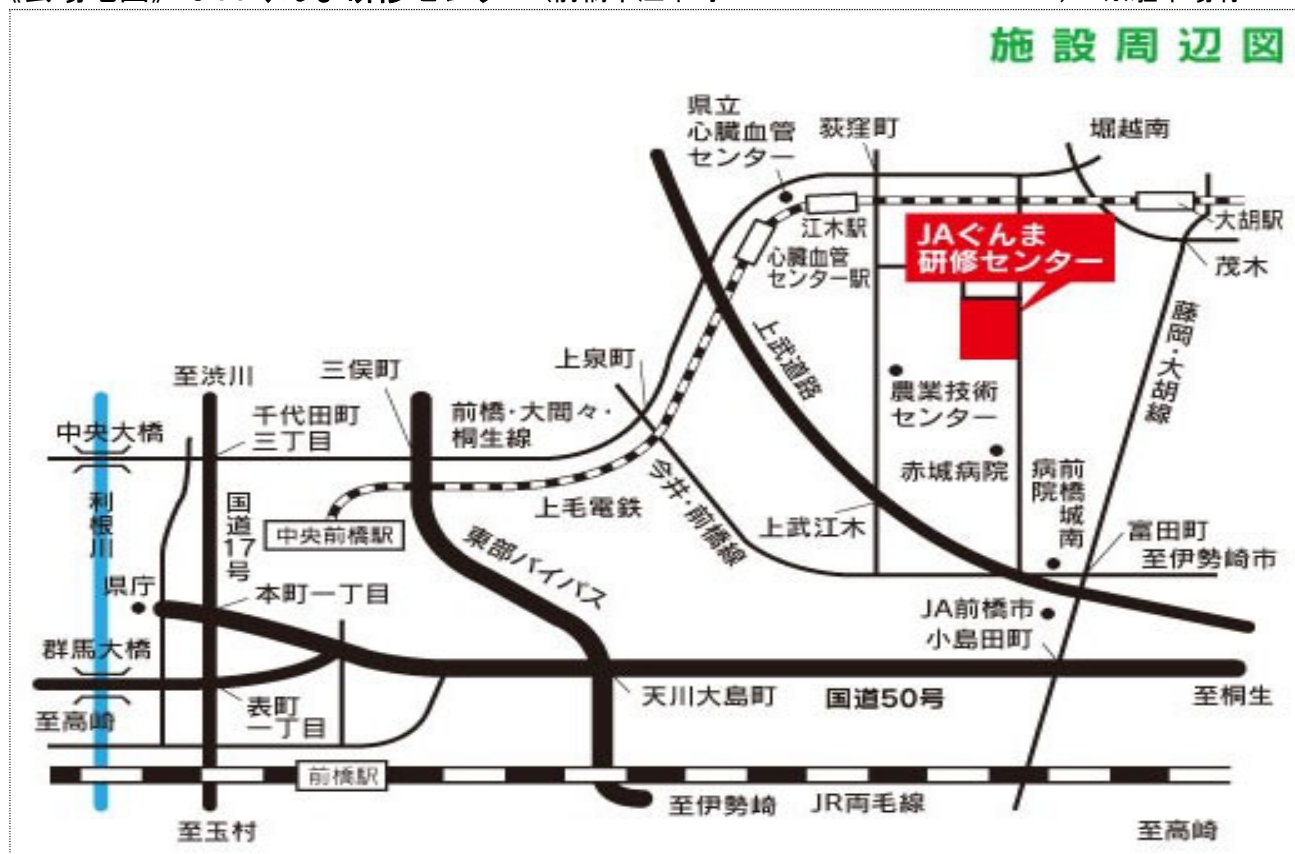
今期で44期を迎えるこのフォアマン研修会は、述べて2,000人近くの修了者を輩出しています。40年以上続く伝統を守りながらも、時代の変化に合わせて常に内容を見直し発展させています。

## 第44期フォアマン研修会 各会合のあらまし

日程	テーマ・内容
<b>第1会合</b> 2019年 6月7日(金)	<b>期待されるフォアマン</b> フォアマン(監督者)に対して会社が期待している基本的な役割と使命、取り巻く環境の変化について認識する。また、コース全体の概観を把握する。
<b>第2会合</b> 7月11日(木) ～12日(金)	<b>グループ課題設定【合宿】</b> 職場を活性化するためのグループ課題の設定を行う。系統図の作成を通じて、技法の習得はもちろん、物事を真剣にかつ精緻に考えることを実践で身につける。
<b>第3会合</b> 7月25日(木)	<b>組織運営</b> 組織運営や報連相のポイント、ゲームを通じて合理的な話し合いをするための重要性について学習する。
<b>第4会合</b> 8月23日(金)	<b>部下育成</b> 部下育成の必要性・重要性およびその方法について、ケーススタディを交えて学習する。また、部下等への接し方、OJTの方法についても合わせて学ぶ。
<b>第5会合</b> 9月6日(金)	<b>職場のコミュニケーション</b> 人間関係の基本であるコミュニケーションの意義と留意点について、コミュニケーションゲームを通して体得する。
<b>第6会合</b> 9月20日(金)	<b>カウンセリングマインド</b> 他人の気持ちや態度を把握する上で重要となることはもちろん、その他の場面でも監督者の態度として必要な「傾聴」、メンタルヘルス等について学ぶ。
<b>第7会合</b> 10月3日(木) ～4日(金)	<b>歩行ラリー研修【合宿】</b> 事実を事実として直視することの難しさや大切さ、情報共有の価値、チームワークの重要性(チームで物事を達成することの意義)等について、体験を通して学び取る。
<b>第8会合</b> 10月16日(水)	<b>リーダーシップ</b> 職場のリーダーとして、職場を活性化するには何が必要か、また、リーダーシップとは何か、リーダーシップとパワハラの違い等について学習する。
<b>第9会合</b> 11月1日(金)	<b>自己革新</b> 自己啓発、さらに自己革新の必要性を学び、その前提として、現在の自分を様々な角度から把握する。また、今後の人生の計画を立てる。
<b>認定試験</b> 11月14日(木)	(研修内容についての筆記試験および論文試験)
<b>追試験</b> 11月19日(火)	(認定試験不合格者のための追試験)
<b>第10会合</b> 11月28日(木)	<b>グループ課題達成発表会</b> 第2会合で課題を設定し、毎会合後に実施してきたグループ討議および自職場での実践の結果について発表し、今後の決意表明をする。
	<b>認定式</b> (認定証の授与、優秀者への表彰、懇親会等)

- ◆ 上記会合の日程・内容等は変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- ◆ 都合により、例年と会合の順番ならびに会場が変わっていますので、ご注意ください。
- ◆ 毎会合参加後に、レポートを提出していただきます。
- ◆ TWI-4Jを修了していない場合は、上記の会合の他に「TWI特別講習会」(6月26日または27日)に参加していただきます。





《研修風景》



【会合の様子】



【歩行ラリー研修】

**フォアマン研修会 過去の参加企業(敬称略・順不同)**

ミツバ、ナカヨ、澤藤電機、小倉クラッチ、吉野工業所、富士スバル、NSKステアリングシステムズ、サンデンホールディングス、八木工業、理研鍛造、モミモ、群馬ヤクルト販売、ぐんま安全教育センター、ヨシカワ、サンユー、大西ライト工業所、星野物産、藤生製作所、上電通運、タツミ、クシダ工業、東葉電機製作所、デンカ、カネコ種苗、赤城自動車教習所、ウエノテクニカ、両毛システムズ、大嶋電機製作所、コガックス、富士ゴム工業、森傳、千代田製作所、イチタン、きのした、ミツパロジスティクス、日本精工、群馬県埋蔵文化財調査事業団、パナニックES内装建材、TI Automotive Japan Gunma、オギハラ、桐生工業、第一石鹼、東京鋳造所、フジアイタック、オオサワ、馬場家具 他

※フォアマン研修会はこれまで業種(製造業・非製造業)を問わず、県内主要企業の監督者(リダー)候補者にご参加いただいています。また、過去に女性の参加者もいましたので、業種や性別を問わずご参加ください。